

# 亡き名大生の夢 基金で受け継ぐ

名古屋法学部3年に在学中だった昨年3月、21歳の若さで突然死した伊藤康祐さんの遺志を継いだ基金「名古屋大学伊藤康祐基金」が学内に創設され、名古屋市千種区の東山キャンパスに11日、記念プレートが設けられた。式典で父俊彦さん(58)は「法整備や留学生支援に有効に使ってほしい」とあいさつした。(二階堂勇)



## 学内にプレート 伊藤康祐さん遺族が寄付

伊藤さんは生前、途上国の法整備に関心があった。語学力を磨いて国際的に活躍する弁護士になるのが夢だった。しかし、昨年3月29日、岩倉市の自宅で突然亡くなった。

遺族は寄せられた香典を名大に寄付。大学側は昨年夏、これをもとに基金を設置した。今年3月、ウズベキスタンに現地事務所を設けたのに合わせ、日本の法律や歴史を紹介する図書87冊を購入する資金に充てた。現地の学生が活用している。

プレートには、伊藤さんが残した「私の使命は、知性と勇気によって世界をプラスの方向へと変革することである。人を憎まず、常に誠実なれ」という言葉を刻んだ。

式には、俊彦さんと母順子さん(50)＝写真中央＝や名大法学部長の鮎京正訓教授、学生ら約50人が集まった。伊藤さんのブログを編集した書籍「個独のプログ」(三五館)の印税も基金に寄付するという。

朝日新聞 2010年8月12日(木)朝刊

## 突然死の名大生・伊藤康祐さん 基金のプレート設置

### 生前のプログラムの文章引用



名大に設置された基金の記念プレート

名古屋法学部在学中に突然死した伊藤康祐さんの遺志を継いだ基金「名古屋大学伊藤康祐基金」の記念プレートが11日、名古屋市千種区同大法政国際教育協力研究センターに設置された。

プレートには、伊藤さんの夢だった、発展途上国の法整備を支援するという基金の目的とともに、伊藤さんが生前につづったブログから「私の使命は、知性と勇気によって世界をプラスの方向へと変革することである」という文章が引用された。末尾には、伊藤さんのパスポートから複写した署名が刻まれている。

除幕式には、伊藤さんの父、俊彦さん(58)と母、順子さん(50)ら約50人が出席した。俊彦さんは「康祐が夢に手をかけようとしたところで亡くなったのは残念だが、遺志を引き継いでほしい」と話した。

読売新聞 2010年8月12日(木)朝刊

昨年急逝の名大生  
寄付をもとに基金  
記念プレート設置  
名古屋大（名古屋市中  
千種区）の法学部三年  
で昨年三月に急逝した  
伊藤康祐さん。当時  
（左）、岩倉市一の両親  
からの寄付をもとに、

同大大学院法学研究科  
は「名古屋大学 伊藤  
康祐基金」を創設。記  
念プレートの上掲式が  
十一日、同大学の法政  
国際教育協力研究セン  
ター前であり、両親や  
関係者約五十人が故人  
をしのんだ。伊藤さん  
の香典約二百万円を両

基金創設の記念プレートを手にする伊藤さんの両親（中央の2人）ら。名古屋市中千種区の名古屋大で



親が寄付し、基金とし  
た。法整備を担う若手  
の人材育成や、留学生  
支援に活用する。

伊藤さんは国際的な  
弁護士を目指し、各国  
の法整備や留学生の支  
援に熱心に取り組んで  
いたという。ブログに  
当時の思いを書き残し  
ており、両親が三月に  
内容を「個独のプログ  
グ」という本にして出  
版。その印税収入も今  
後、寄付するという。

記念プレートには、  
伊藤さんがブログに残  
した「人を憎まず、常  
に誠実たれ」などの文  
章をあしらった。父親  
の俊彦さん（左）は「康  
祐の志を永く知ってい  
ただけ、心から感謝し  
ている」と話した。